

「人権・生涯」学習の推進

大津市生涯学習推進計画においては、大切にする視点の一つに「人間性の尊重」を位置づけ、全ての市民の人権が尊重される心豊かな地域社会の実現に努めることとしているが、大津市においては、今日までの同和問題解決に向けた取組や人権問題の学習の成果を基盤に、女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人などの重要課題に対して、市民の自主的・主体的な人権学習を推進している。

各地域では、「人権・生涯」学習推進協議会(以下「人推協」という)を中心に、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、それぞれの地域の特色を生かした事業及び活動を展開されている。また、各自治会に、人権・生涯学習推進員を設置し、地域における人権学習の推進役として活動をしている。

さらには、36の地域「人推協」で組織した大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会(以下「人推協連」という)では、相互の連携を密にして地域ぐるみによる人権学習の総合的な取組みを図っている。

1 大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会

平成17年度から連合会の目標として「まちづくり」という視点から次の3点を掲げるようになった。連合会は、これらの目標を念頭に、研修、啓発を中心に活動している。

- 一人ひとりのちがいを認め合い、互いが尊重されるまちづくり
- いのちと健康を大切にし、豊かな心を育てるまちづくり
- 地域の特色を生かし、身近な課題に取り組むまちづくり

(1) みんなで考える人権講座(人権意識を高めるためのすそ野を広げる活動)

様々な人権課題について広く市民に知っていただき、人権学習のすそ野を広げるため、人権・生涯学習推進員をはじめ、広く市民を対象に、人権意識高揚への入り口として開催する講座。

【30年度事業結果】

演 題	講師名	講師肩書・参加者等	場 所	日 時
インターネットと人権～子どもを守る大人の役割～	神月 紀輔	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授 【参加者数：69人】	大津市ふれあいプラザ	8/28(火) 14時～16時
映画会 「誰もがその人らしく-LGBT-」 講演会 「はじめて知るLGBT」	岸本 誠 大久保 暁	一般社団法人 結婚トータルサポート協会 代表理事 一般社団法人 結婚トータルサポート協会 理事 【参加者数：76人】	大津市生涯学習センター	9/22(土) 13時30分～15時30分
大津市における同和施策について	川辺 勉 吉田 泰之	大津市立栗津中学校 校長 大津市政策調整部 人権・男女共同参画課 参事 【参加者数：78人】	市役所別館 大会議室	2/19(火) 14時～16時
「子どもの貧困と子どもの権利」	荘保 共子	認定NPO法人 「こどもの里」理事長 【参加者数：181人】	大津市北部地域文化センター	3/2(土) 14時～16時 10分

(2) 自分のための人権講座

〈人権課題を自分の問題として捉えてもらうための講座〉

人権課題解決に向けての実際の活動を学ぶことで、人権課題を自分の問題として捉えてもらうことを目的とした講座。

【30年度事業結果】

演 題	講師名	講師肩書・参加者等	場 所	日 時
気づきから始まる人間関係 地域関係	丸本 敏久	株式会社 メンタル・パワー・サポート 代表 【参加者数：110人】	市役所別館 大会議室	7/20(金) 14時～16時
大切な人を自死で亡くすとは ～自殺の現状と活動を通して～	山口 和浩	NPO法人 自死遺族支援ネットワーク Re 代表 大村椿の森学園 施設長 【参加者数：78人】	市役所別館 大会議室	10/3(水) 14時～16時

(3) 地域活動人権講座〈地域で実際に活動してもらうリーダーの養成講座〉

地域での学習活動や実践的活動につなげるための講座。

【30年度事業結果】

映画タイトル		内容・参加者等	場 所	日 時
さとにきたらええやん		「こどもの里」をテーマにしたドキュメンタリー映画 【参加者数：93人】	大津市生涯学習センター	2/1(金) 14時～16時

(4) 輪を広げる人権講座〈自分の問題から社会に対する働きかけへ〉

様々な人権課題の解決に向けて自主的に取り組まれている団体や個人の活動について学び、地域や社会に向けて働きかけの契機とするための講座。

【30年度事業結果】

演 題	講師名	講師肩書・参加者等	場 所	日 時
ハンセン病と人権 ～ハンセン病問題から学ぶこと～	儀同 政一	国立ハンセン病資料館 学芸事業部社会啓発課 参与 【参加者数：55人】	市役所新館 大会議室	12/1(土) 14時～16時

(5) 全体交流研修会（先進地視察研修）

地域「人権・生涯」学習推進協議会（以下「地域人推協」という。）役員等を対象に先進的な活動を行っている機関や施設を訪問し、新たな視点を身に付け、また、相互の交流と意見交換を行うための研修

- ・ 研修内容：全国人権・同和教育研究大会への参加
- ・ 実 施 日：11月17日（土）～18日（日）
- ・ 目 的：大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会（以下「人推協連」という。）では、地域における様々な人権に関する重要な問題に対応するた

め、幅広く人づくり、地域づくりを含めた人権・生涯学習に取り組んでいるところである。人権に関しては、社会情勢の変化等により新たな問題が出現するなど、常に新しい視点を身につけることが重要であることから、「全国人権・同和教育研究大会」に参加し、人権問題解決のネットワーク構築と、今後一層「人権・生涯」学習を推進するために全国の事例を学習する。

- ・ 参 加 者：地域人推協より45名参加

(6) 地域かかわり隊の活動

名 称	ワークショップテーマ	場 所	日 時	参加者数
滋賀学区 人権・生涯学習推進員研修会	「人権と聞いて あなたは何を想像しますか」	滋賀公民館	5/26 (土) 10時～12時	27名
富士見学区 「秋の集会」	「ともに暮らす社会づくり ～気をつけたい 傷つく一言・傷つける一言～」	富士見小学校	11/4 (日) 9時50分～ 12時	24名
堅田学区 「秋の集会」	「ともに暮らす社会づくり ～十人十色、違いを認め 理解しあう社会～」	堅田中学校	11/10 (土) 9時30分～ 12時	36名

(7) 啓発、広報活動

- ①人推協連ニュースの発行
地域「人権・生涯」学習推進協議会や推進員に向けて、事業計画や事業結果等について報告
- ②啓発用資料等の収集・提供
啓発用教材・資料等を広く活用できるように地域「人権・生涯」学習推進協議会等に提供する。
- ③人権学習関係講師の紹介
地域等で学習会をする場合の講師について、要望に併せて適切な講師の紹介を行う。

(8) 会議等

- ①総 会 1回
- ②会長会・事務局長会合同会議 2回
- ③運営委員会
6名の運営委員と連合会の正副会長で、総会や会長会・事務局長会に諮るための事業の計画や運営方法、また地域人推協のあり方等について協議を行う。

(9) 各種大会・研修会等への参加、協力

- ①人権を考える大津市民のつどい
夏の集会（6月～8月） 〈各小学校区・ブロックで開催〉
秋の集会（10月～12月） 〈各小学校区・ブロックで開催〉
- ②滋賀県人権教育研究大会（11月17日・18日）〈県内各市町〉

- ③人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい（12月9日）〈県立文化産業交流会館〉
- ④人権学習をすすめる市民のつどい（3月2日）〈北部地域文化センター〉

2 人権・生涯学習推進員

地域「人権・生涯」学習推進協議会活動の中核的な役割を果たす人権・生涯学習推進員を、ボランティアとして市内各自治会に1～2人を設置している。（平成30年度：1,078名）

主な活動内容は次のとおりである。

- ・世話役活動 自治会、団体との連絡調整、相談活動
- ・啓発活動 住民・団体への啓発活動、集会等への参加呼びかけ
- ・組織活動 地域人推協への参画、学習機会の企画
- ・研修 自己研修、学習会などへの参加

<設置の経過>

昭和45年度	社会同和教育推進員制度発足
昭和50年度	市内各自治会に設置
昭和53年度	大規模自治会(110世帯以上)に複数設置
昭和54年度	教育長による委嘱開始
平成14年度	人権・生涯学習推進員に名称変更
平成12年度	大規模自治会の複数設置基準の変更 (110世帯から130世帯以上に)

3 人権を考える大津市民のつどいの共催

人権を考える大津市民のつどいは、同和問題をはじめあらゆる差別の解消を目指して、昭和44年に「大津市同和教育研究大会」として開催された。以来、「人権尊重を基盤とした個性と魅力あふれるまちづくりをめざして」をテーマに、全市一会場の開催からブロック開催(現在11ブロック)へ、そして夏・秋の年2回開催となった。また、名称も「人権を考える大津市民のつどい」と改められ、平成30年度は50回目の開催となった。参加者は約5,800人となり、地域社会に定着した集会となっている。

大津市においては、学校・園での教育の充実や地域での「人権・生涯」学習推進協議会をはじめとする市民運動の展開など、生涯学習社会における人権学習が積極的に推進されている。

本市としては主催団体の一員として、今後も、人権問題についての正しい理解・認識が深められ、課題解決を目指す取組みが促進されるよう、このつどいがきめ細かく、幅広い市民の学習の場となるよう創意工夫しながら開催していく。

- ・夏の集会 6月～ 8月 主に全体会(講演会)方式で開催
市内25会場で実施、3,337人が参加

- ・秋の集会 10月～12月 主に分科会方式で開催
市内16会場で実施、2,437人が参加

4 「人権を守る大津市民の会」の活動の支援

「人権を守る大津市民の会」は、市民の人権意識の高揚を図り、差別のない社会の実現を目指して、昭和52年に結成された。これは、昭和48年に同和問題啓発演劇「慟哭」、その3年後の51年に「背負われた如来」が上演され、市民の同和問題に対する認識が一気に高まったことを受けて、上演活動に参加した者を中心に誕生したものである。

以来、今日の人権にかかる重要な課題の解決を目指し、駅頭・街頭啓発をはじめ、人権作品の募集や作品展の開催、文化活動助成など、幅広い啓発活動を市民ぐるみで展開している。そして現在では、地域、職域を合わせて26団体が結集する市民団体となっている。

本市としても人権尊重を基盤とした「結の湖都 大津」のまちづくりの実現に向けて、人権を尊重する意識の高揚を図る市民啓発の充実を図っていくため、「守る会」の活動を支援している。

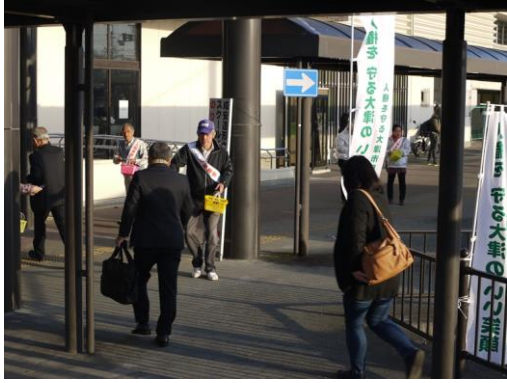
平成30年度の「人権を守る大津市民の会」の主な主催事業

- ・第41回「わたしと人権」入賞作品展（3会場）
- ・人権啓発活動（駅頭・街頭啓発）
- ・第42回「わたしと人権」作品募集と優秀作品の表彰
- ・冊子「わたしと人権」の作成と配布（2,700部）

【入賞作品展の様子】



【人権啓発活動の様子】



【「わたしと人権」特別賞表彰式の様子】

